

# 秋葉山古墳群

## 国史跡指定20周年記念講演会

～秋葉山古墳群と南関東の出現期古墳を再考する～



参加無料  
事前申込制

定員120名  
※応募者多数の場合抽選

【開催日時】

令和7年

7月13日(日)

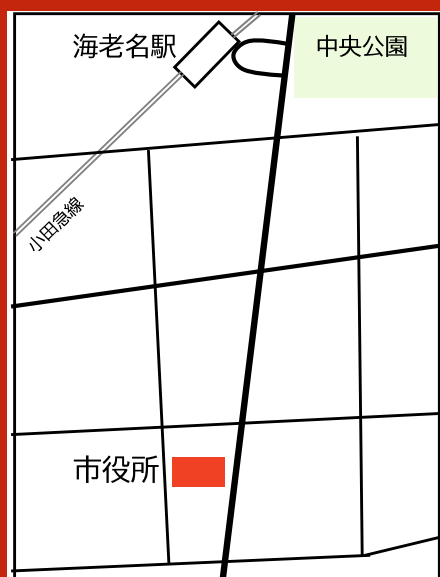
10時～16時45分

【会場】

海老名市役所  
401会議室

△秋葉山古墳群1号墳(令和6年)

▽秋葉山古墳群3号墳出土土器



小田急小田原線・相鉄線海老名駅下車徒歩約15分  
※公共交通機関をご利用ください。

【主催】海老名市教育委員会

【共催】(公財)かながわ考古学財団

【後援】神奈川県教育委員会



秋葉山古墳群が国史跡に指定されてから、令和7年で20年を迎えます。  
この20年の間に、東日本での前期古墳調査成果の蓄積、相模川流域の  
低地遺跡の発掘調査や研究成果の進展があり、相模地域の弥生時代後期  
から古墳時代前期にかけての遺跡の調査も多くありました。

指定から20年たった今、改めて秋葉山古墳群築造の背景や南関東にお  
ける古墳築造の開始について検討します。

### 秋葉山古墳群について

秋葉山古墳群は、座間丘陵座間面の頂部に造られた古墳群で、現在6基確認され  
ています。発掘調査により弥生時代終末期（3世紀後半）から古墳時代前半（4世  
紀）にかけて継続的に造られた墳墓群であることが確認されました。

秋葉山古墳群第2号墳の後円部頂上は標高84.6mと市内で最も標高が高い地点で、  
この上に火を防ぐ神を祀った「秋葉社」という祠がありました。この祠から第2号  
墳は秋葉山古墳と古くから呼ばれ、これが古墳群の名前になりました。

## 午前の部 10時～12時

### ○事例発表



**小林友佳氏**（（公財）かながわ考古学財団）

「相模川流域の前期（出現期）古墳」



**山口正憲氏**（葉山町教育委員会）

「長柄桜山古墳群と南関東の出現期古墳」



**小森明美氏**（株式会社玉川文化財研究所）

「相模川流域の弥生時代後期から古墳出現期の集落」

## 午後の部 13時～16時45分



**佐藤祐樹氏**（富士市教育委員会）

「スルガとサガミの前期（出現期）古墳について」

### ○特別講演



**青木 敬氏**（國學院大學）

「東日本における出現期古墳の特質」

### ○質疑応答・パネルディスカッション

#### 申込方法

電子フォームまたは往復はがきで。

往復はがきの場合、往復はがきの返信用表面に住所・氏  
名を、往信用裏面に住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、  
〒243-0422 中新田377海老名市教育総務課文化財係へ。

＼電子フォーム／



#### 申込期間

6月3日8時30分～6月20日（金）17時15分必着

問い合わせ先：海老名市教育委員会教育総務課文化財係

〒243-0422 海老名市中新田377 電話（046）235-4925